

■国道330号沿線地区整備の方向性

まちづくり基本方針を踏まえ、胡屋十字路～胡屋北交差点の道路整備とあわせた一体的な取り組みを進め、「コザ文化」を代表する魅力的で活力あるまちの形成を図るため、胡屋十字路周辺地区のうち国道330号沿線の一部の地区(国道330号沿線地区)について、地区整備の方向性を以下のように位置づけています。

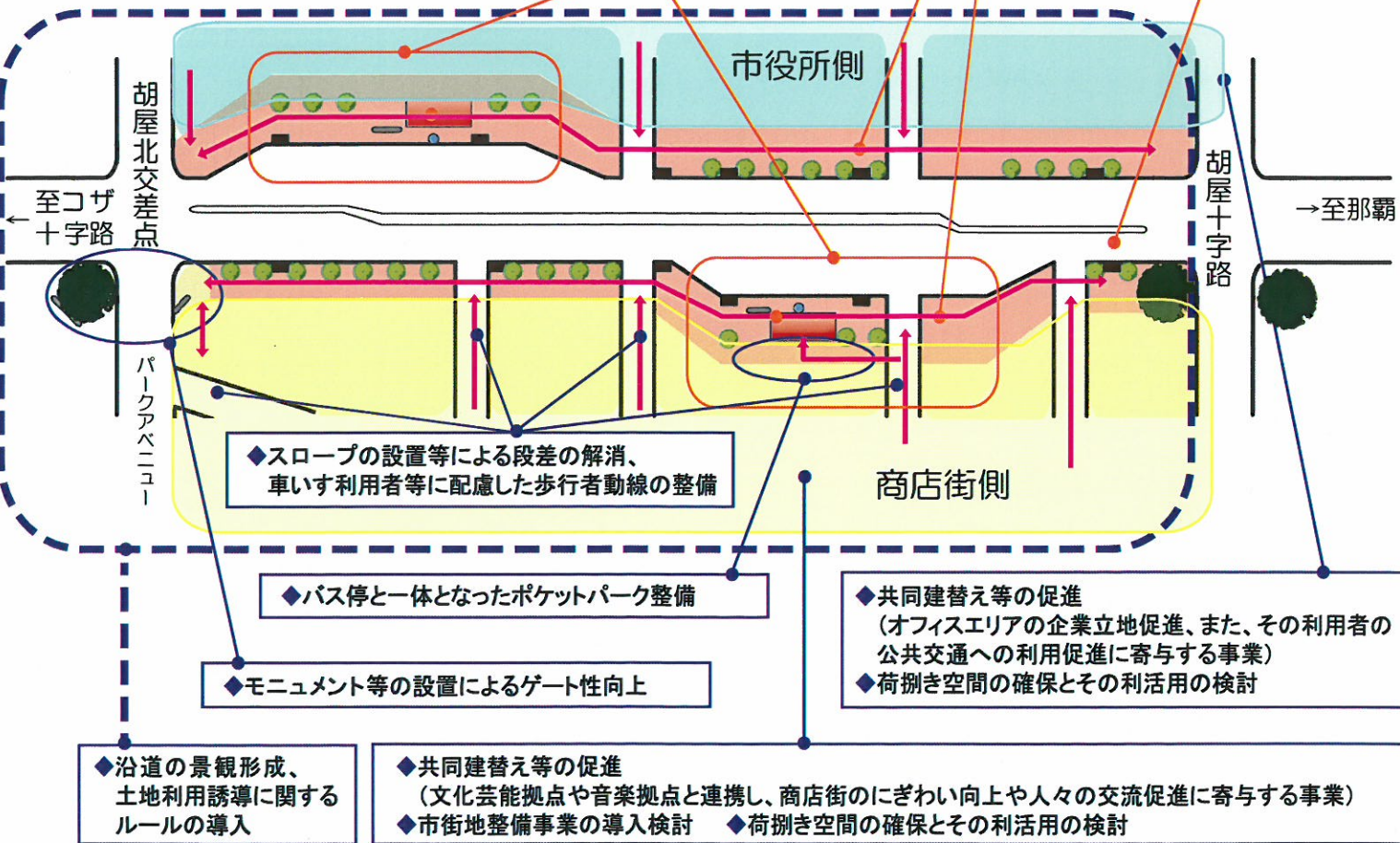
オフィス エリア

○商店街との一体性にも配慮した活力あるオフィスエリアの形成を図るため、共同建替えや公共交通の利便性向上など、企業の立地促進に向けた各施策・事業を進めるとともに、コザらしい個性的で美しい街並みの形成を進めます。

◆地区整備計画図(総括図)案

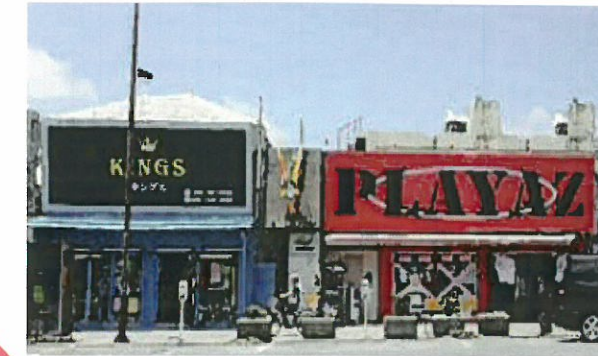
- 国道整備内容案
- 沿線地区実施事業案
- 主な歩行者動線

- ◆バス2台が同時に停車可能なバス停車線長の確保
- ◆バス停上屋・ベンチ、車いす利用者等の乗り降りできるスペース設置
- ◆歩行者の円滑な移動に配慮したバス停溜り空間の整備
- ◆案内板の整備
- ◆高幅員、バリアフリー等を有する快適な歩道整備
- ◆街路樹整備、電線の地中化
- ◆見通し等を考慮した広い路肩確保、右折対設置



コザ文化 エリア

○あしびなーやミュージックタウンと連携した魅力的な店舗等の集積、コザらしい個性的で美しい街並みの形成、商店街へのアクセス性の向上等を進めつつ、その魅力を内外に発信し、多様な交流を促進します。



胡屋十字路周辺地区のまちづくり

平成25年度
胡屋十字路周辺地区まちづくり基本方針及び土地利用可能性調査



胡屋十字路周辺を含む本市の中心市街地は、その成り立ちの中で文化を育み、都市の核として各種の機能を培ってきたまちの顔であり、とりわけ国道330号胡屋十字路～コザ十字路間沿線は、これまで沖縄市中心市街地の屋台骨として市の発展に大きく貢献してきた地域です。一方、近年の目まぐるしい社会情勢の変化を受けて、中心市街地の衰退、交通渋滞の慢性化・交通事故の発生等が課題となっています。

このような状況を踏まえ、本市においては平成22年3月に沖縄市中心市街地活性化基本計画の認定を受け中心市街地の活性化の取り組みを行っています。また、国道330号沿線地域においては、平成21年度よりまちの活性化及び生活環境の改善を図るための国道330号沿線の土地利用計画策定に向けた調査・検討を進めています。

そうした背景のもと、今年度はこれまでの調査等の成果を踏まえて、胡屋十字路周辺地区まちづくり基本方針および国道330号(「胡屋十字路～胡屋北交差点」区間)沿線地区における具体的な地区整備の方向性を決めました。

■まちづくりの基本方針

「コザ文化の継承と発展」

多様な文化が混在一体となった、エネルギッシュでパワフルな文化空間を「継承」し、これまで培われてきた個性豊かな感性によって、様々なものを取り入れ、新たなものを生み出すことにより、コザ文化の「発展」を目指します。

■まちづくりの目標像

1 人にやさしいまち

誰もが安全で安心して利用できる道路・交通環境等を備えた市街地の形成を図り、『人にやさしいまち』の形成を目指します。

2 にぎやかで便利なまち

集客力のある商業施設の整備・誘致等によるにぎわいの創出、文化施設や社交街等を活かした集客を図り、『にぎやかで便利なまち』の形成を目指します。

3 景観に配慮したまち

沿道の緑化や沿道建築物等のデザインの工夫等を誘導し、花や緑にあふれ、コザを代表する街並みを演出し、『景観に配慮したまち』の形成を目指します。

4 安全なまち

地域の防犯力を高めるとともに、道路の交通安全対策や老朽化した建物の建替え促進等により、『安全なまち』の形成を目指します。

5 住民が誇りを持てるまち

文化芸術拠点や音楽拠点の充実、個性あふれる商業施設の活性化などにより、『住民が誇りを持てるまち』の形成を目指します。

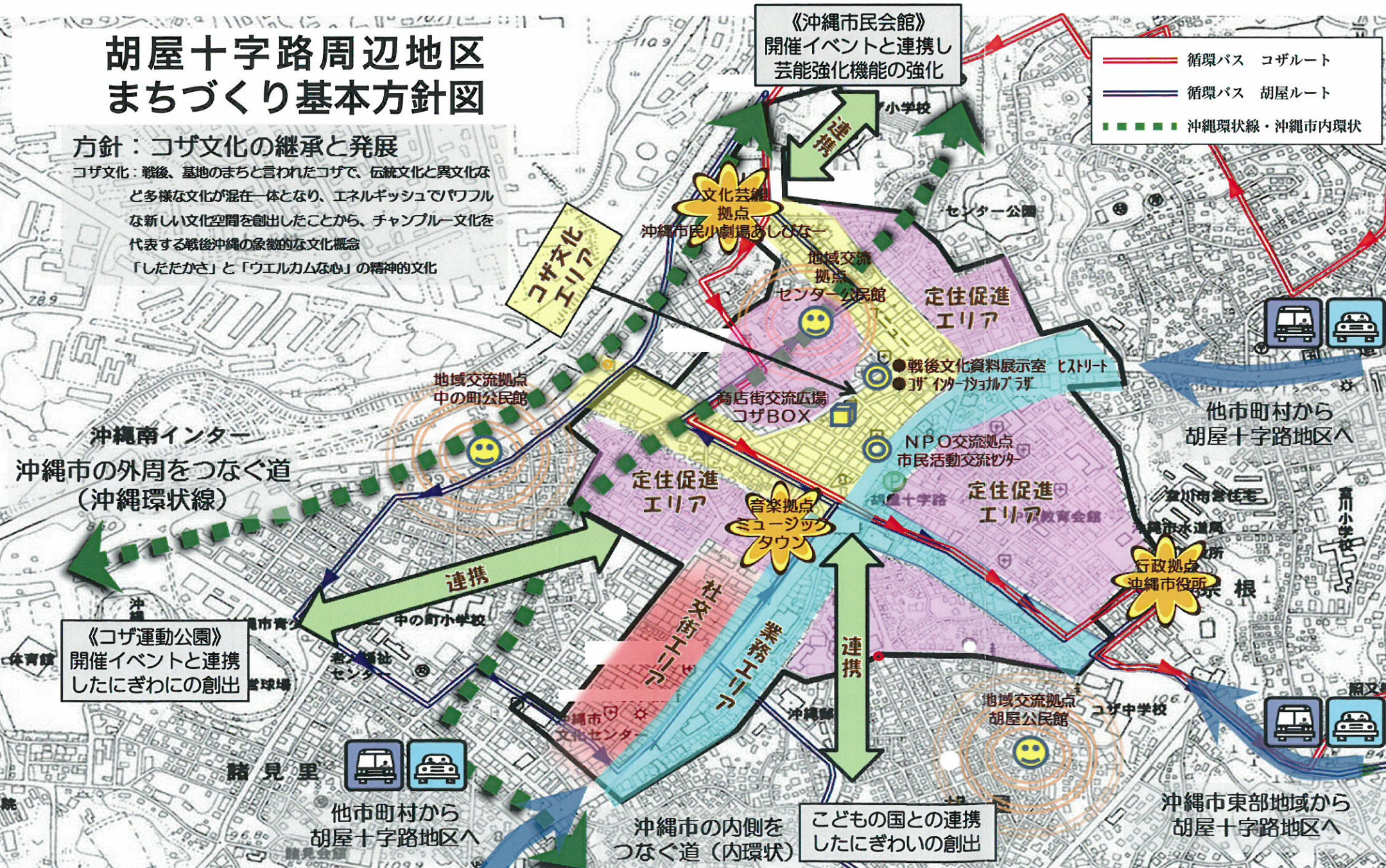
6 住みたい、仕事をしたい、起業したいまち

子育て世帯の居住促進に向けた支援や企業誘致等により、市民の生活基盤となる「住む、働く」機能の再生を図り、『住みたい、仕事をしたい、起業したいまち』の形成を目指します。

胡屋十字路周辺地区 まちづくり基本方針図

方針：コザ文化の継承と発展

コザ文化：戦後、基地のまちと言われたコザで、伝統文化と異文化など多様な文化が混在一体となり、エネルギッシュでパワフルな新しい文化空間を創出したことから、チャンプルー文化を代表する戦後沖縄の象徴的な文化概念「したたかさ」と「ウエルカムな心」の精神的文化



■エリア別の基本方針

コザ文化エリア

文化芸術拠点である沖繩市民小劇場「あしびなー」や音楽拠点であるミュージックタウンと商店街が連携し合い、多くの人が文化にふれることができる交流の場を目指します。

オフィスエリア

交通結節点である立地条件の良さを活かした販売・サービス関連事業所や宿泊施設等の立地を誘導し、市民の生活基盤となる「住み、働く」機能の再生及び地区のにぎわい創出に資するエリアの形成を目指します。

定住促進エリア

本地区の定住人口の増加を目指し、利便性の向上・にぎわい創出に向けた施策を展開するとともに、居住環境の安全性・快適性の向上等を図ります。

社交街エリア

周辺の居住地域と共存する安全・安心な社交街を目指すとともに、周辺の居住環境やこどもの生活環境の向上に向けた施策を検討します。